

令和2年度 十和田市立三本木小学校 学校だより

令和2年7月1日(水)

杉の子

No. 5

文責：校長

十和田市東三番町36-1
TEL 23-7178
特別支援教育センター
TEL 23-9553

本校の校訓「自立」

校長 江渡 準 悦

いよいよ盛夏の季節となりました。保護者の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。4日間の学習参観日へのたくさんのご参観、まことにありがとうございました。参観できる日を指定していたことによりご不便をおかけしたことと思いますが、ご協力大変ありがとうございました。

さて、先月の全校朝会で、本校の校訓「自立」について子供たちに話しました。

三本木小学校の校歌は昔は4番までであったこと。校歌1番の歌詞の内容を短くまとめた言葉が、校訓の「自立」であること。自立とは「自分でできることをすることであり、それを増やしていくこと」であることなどを話しました。また、初めから一人でできたら1番いいのですが、どう頑張っても難しいときは、「手助けしてください。」と言って、助けてもらってできるようになることも自立であり、いつか自分が助けてあげられる側になることも大切だと話しました。

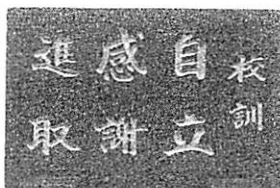
放送を通しての全校朝会でしたから、子供たちが関心を持って聞きやすいように、少しだけ校歌を歌って聞かせたり、「自立」の意味を分かりやすく伝えるために、筒井頼子氏作の『はじめてのおつかい』という絵本を読み聞かせたりしました。

また、1番の中に、「国の柱となりぬべし」という歌詞がありますが、これには『必ず国を支える人になります』という強い決意が表されていることから、高学年にはこの歌詞のように、まずは「三本木小学校を支えられるような『三小の柱』になってほしい」と呼びかけたところ、翌日、十数名の子供たちからこんな声を掛けてもらったり、学年の取組として「ありがとうの花を咲かせよう」コーナーに自分の考えを書いてもらったりしました。

【児童からのことば】

- 1・2年生のお手本になるような気持ちのよいあいさつを心がけたい。
- 1～3年生のお手本になるような廊下歩行を頑張ります。
- 人に頼ってばかりいないようにしたり、困っている人を助けたりできるようになりたい。
- いじめを見たら、すぐに注意をできるひとになりたい。
- 言われる前に、お母さんのお手伝いをできる人になりたい。
- 左手でドリブルをできるようになりたい。
- 勇気を持って発表できる子になりたい。

一部のみの紹介となりましたが、「今できないことが、できるようになること」「できるようになりたいと思うこと」、そして、ときには後戻りすることがあっても、**昨日より今日、今日より明日と よくなるとうとする子**を、三小の職員みんなで育んでいきたいと思えます。



三小の力強いサポーター

【PTA並びに杉の子振興会】

6月23日(火)PTA組織会には、仕事帰りに来てくださった方、家事の途中で来てくださった方など、たくさんの方々にお集まりいただきまことにありがとうございました。いつもは参観日と抱き合わせで行いますが、この日は、学年や専門委員会メンバーの顔合わせと役割決めのみとなっておりますので、どれだけの方にお集まりいただけるか心配もありましたが、100名を超える方々にお集まりいただきました。この日お集まりいただけなかった方々も含めまして、子供たちや学校のために、今年度どうぞよろしくお願ひいたします。後日、PTAと杉の子振興会の役員名等をお知らせいたします。

【三小防犯パトロール隊とあいさつ運動協力員】



本校には力強いサポーターがいらっしやいます。防犯パトロール隊の方々は、月に約10日と有事の際「(例₁)熊が出没した (例₂)臨時の出校日など」に子供たちの登下校の見守りをしてくださっています。あいさつ運動協力員の方々は、毎月第1・3月曜日と始業式・終業式の日、朝早くから子供たちにあいさつの声かけをしてくださっています。子供たちが安心して学校に通うことができる一助となっています。



【学校図書館ボランティア】

本校では、児童の読書活動の充実を図るために図書館ボランティアを募集し、図書室内の装飾や児童への読み聞かせ、本の貸し出しの業務等をお願いしております。今年度は現在22名の方々にご協力を頂いておりますが、随時、ご協力いただける方を募集しておりますので、学校(☎23-7178)へご連絡ください。お待ちしております。



【1年生のしおり作りの様子】

